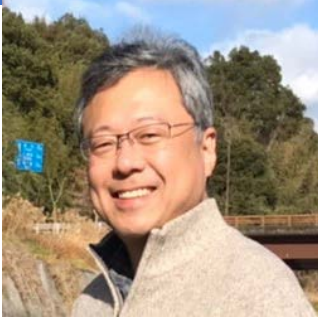


第151回 汽水域懇談会 (オンライン開催) (共催) 地球科学科
自然災害軽減教育研究センター

ミニワークショップ「日本海沿岸での津波堆積物の検出：
日本海東縁と山陰での事例」

北東北日本海側における古津波研究の現状



鎌滝 孝信 (博士：理学)

岡山理科大学理学部基礎理学科教授

日時：2021年 3月30日(火) 15:00-16:30

場所：オンライン開催 (zoom を使用)

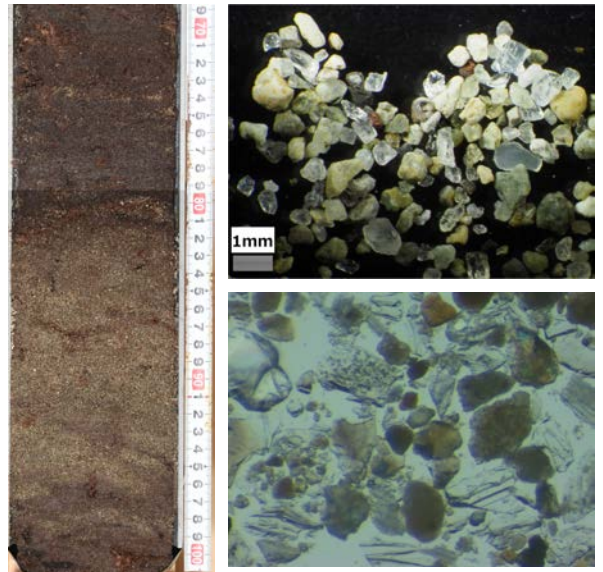
参加希望者は 3月26日(金)正午までに、
kisui@soc.shimane-u.ac.jp へ、ご連絡下さい。

【講演概要】

日本海東縁部では、1833年庄内沖地震、1964年新潟地震、1983年日本海中部地震および1994年北海道南西沖地震など、19世紀から20世紀にかけて津波を伴う大きな地震がいくつか発生し、沿岸各地に被害をもたらしてきた。しかしながらこれらの地域では、それ以前の地震や津波に関する歴史記録に乏しいため、日本海東縁部における地震・津波の長期予測に関する精度は十分とはいえない。そこで我々は、古地震・古津波に関する証拠を集め、地震・津波被害の将来予測に資する情報を整備することを目的として、秋田県および青森県の北東北日本海沿岸域において古津波の痕跡に関する調査を進めている。その結果、調査地域から津波によって形成された可能性のある堆積層が複数枚みいだされてきた。

本講演では、地層やそこに含まれる化石を調べることで、地球環境の変化や地震、津波といった自然災害につながるような事象が過去にその場所で発生していたことを読み取ることができるという研究事例を紹介したい。また、北東北日本海沿岸における津波堆積物研究から推定される過去の津波について、現時点で得られている知見について意見交換をしたい。

山陰地域での津波堆積物の調査成果の紹介も鎌滝氏の講演の後に行います
「山陰地域で見つかったイベント堆積物」 酒井哲弥 (総合理工・地球科学科)



お問い合わせ：島根大学 研究・学術情報機構 エスチュアリー研究センター

齋藤 文紀 Tel 0852-32-6037 e-mail: kisui@soc.shimane-u.ac.jp